

第1編 安心して健やかに暮らせるまち
第3章 健やかで明るい高齢社会を築く

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度									18年度	19年度					
8	市民サービス	ひとり暮らし高齢者等短期入所事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】ひとり暮らしの高齢者等を一時的に養護老人ホーム等に人所させる。 【対象者】おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者で、介護保険で自立と認定され、疾病ではないが基本的生活習慣が不規則で体調不良な方 【具体的な活動内容】 ・原則として1週間以内の入所期間中に、生活習慣等の指導や体調調整を行う。	特会	[概算コスト] 427 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 652 (内訳) ・決算額 100 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 552 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 749 (内訳) ・決算額 183 ・人件費 566 (0.13人)	利用者数 (単位:人)	[目標値] 9 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 9 [実績値] 3 達成率 33.3%	[目標値] 9 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 9 [実績値] 0 達成率 0.0%	高齢者の福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 体調が不良なひとり暮らし高齢者や徘徊高齢者等の保護のため、必要な事業である。	
9	監視・規制	老人医療レセプト点検事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】老人医療制度の安定的運営を確保するため、レセプト点検事業等を実施することにより、医療費の適正化を図る。 【対象者】高齢者 【具体的な活動内容】 ・レセプトの内容点検 ・疾病統計の作成 ・第三者行為等の実地調査	国補助	[概算コスト] 22,731 (内訳) ・決算額 22,304 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 23,127 (内訳) ・決算額 22,702 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 22,839 (内訳) ・決算額 22,414 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 23,614 (内訳) ・決算額 23,179 ・人件費 435 (0.10人)	抽出された過誤調整依頼件数 (単位:件)	[目標値] 9,481 [実績値] 9,481 達成率 100.0%	[目標値] 12,775 [実績値] 12,775 達成率 100.0%	[目標値] 8,985 [実績値] 8,985 達成率 100.0%	[目標値] [実績値] 達成率	過誤調整決定金額 (単位:円)	[目標値] 25,263,559 [実績値] 25,263,559 達成率 100.0%	[目標値] 33,968,161 [実績値] 33,968,161 達成率 100.0%	[目標値] 18,676,207 [実績値] 18,676,207 達成率 100.0%	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	○	△	△	△	△	○	-	F	F	終了 (理由) レセプト点検は鹿児島県後高齢者広域連合が実施主体となる予定であることから、事業を終了する。	
10	市民サービス	高齢者福祉電話設置事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】高齢者の孤独感を和らげるとともに、地域住民の協力や高齢者福祉相談員により安否の確認を行うため、ひとり暮らしの高齢者宅等に福祉電話を設置する。 【対象者】ひとり暮らしの高齢者、または高齢者だけの世帯で寝たきりもしくは病状や身体的な状況によって、常に生命の安全の確保が懸念されている世帯(おおむね65歳以上の方で住民税が非課税世帯であり、現に電話が設置されていない世帯) 【具体的な活動内容】福祉電話を貸与するとともに、地域住民の協力や高齢者福祉相談員により安否の確認を行う。	市単	[概算コスト] 6,653 (内訳) ・決算額 6,226 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 6,057 (内訳) ・決算額 5,166 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 5,743 (内訳) ・決算額 4,852 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 6,478 (内訳) ・決算額 5,564 ・人件費 914 (0.21人)	電話の貸与台数 (単位:台)	[目標値] 274 [実績値] 228 達成率 83.2%	[目標値] 258 [実績値] 224 達成率 86.8%	[目標値] 213 [実績値] 208 達成率 97.7%	[目標値] 207 [実績値] 208 達成率 99.5%	高齢者の福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 高齢者の孤独感の解消や安否確認のため、コミュニケーション及び緊急連絡の手段を確保する事業であり、必要である。	
11	市民サービス	寝たきり高齢者等寝具洗濯サービス事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】長期にわたって臥床している高齢者等の保健衛生の向上を図るため、当該高齢者等の寝具を洗濯・消毒・乾燥する。 【対象者】要介護3以上と認定された65歳以上の在宅の方。 【具体的な活動内容】 ・寝具の洗濯・消毒・乾燥を年3回以内(8~11月の申請者は年2回、12月以降の申請者は年1回)行う。(所得に応じて負担あり。)	市単	[概算コスト] 1,052 (内訳) ・決算額 839 ・人件費 213 (0.05人)	[概算コスト] 2,055 (内訳) ・決算額 781 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 2,098 (内訳) ・決算額 824 ・人件費 1,305 (0.30人)	[概算コスト] 2,919 (内訳) ・決算額 1,614 ・人件費 1,305 (0.30人)	サービス提供件数 (単位:件)	[目標値] 243 [実績値] 145 達成率 59.7%	[目標値] 262 [実績値] 217 達成率 82.8%	[目標値] 238 [実績値] 227 達成率 95.4%	[目標値] 322 [実績値] 322 達成率 100.0%	寝たきり高齢者等の保健衛生の向上及び福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 寝たきり高齢者の保健衛生の向上を図るために必要な事業である。	
12	助成・育成	老人介護手当支給事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】在宅の寝たきり高齢者または重度認知症高齢者を介護している方に、介護手当を支給する。 【対象者】要介護3以上かつ65歳以上の方と同居、またはこれに準ずる状態で6ヶ月以上介護している方など、一定の要件に該当する者 【具体的な活動内容】 ・寝たきり高齢者等1人につき月額9万円の手当を支給する。(国の特別障害手当、経過的福祉手当の受給者を介護している場合は、月額4万5千円)	市単	[概算コスト] 120,241 (内訳) ・決算額 118,108 ・人件費 2,133 (0.50人)	[概算コスト] 128,898 (内訳) ・決算額 125,205 ・人件費 3,693 (0.87人)	[概算コスト] 139,431 (内訳) ・決算額 135,738 ・人件費 3,693 (0.87人)	[概算コスト] 131,065 (内訳) ・決算額 127,280 ・人件費 3,785 (0.87人)	支給件数 (単位:件)	[目標値] 1,536 [実績値] 1,380 達成率 89.8%	[目標値] 1,437 [実績値] 1,465 達成率 101.9%	[目標値] 1,477 [実績値] 1,581 達成率 107.0%	[目標値] 1,486 [実績値] 1,486 達成率 100.0%	寝たきり高齢者等の福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	-	A	A	現状のまま継続 (理由) 在宅による寝たきり高齢者又は重度認知症老人を介護する者の介護の労をねぎらうとともに、介護を支援するために、必要な事業である。	
13	市民サービス	在宅介護支援システム設置事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成5年度 【概要】安否確認の必要な高齢者宅に在宅介護支援システムを設置する。 【対象者】常に安否確認の必要なひとり暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯で、一方が要介護3以上、または、双方とも要支援以上の世帯 【具体的な活動内容】 ・緊急通報・・・消防局に通報する。 ・相談通報・・・相談センターにつながる。 ・安否確認・・・設置者に対し、定期的に電話連絡をする。	市単	[概算コスト] 20,069 (内訳) ・決算額 18,789 ・人件費 1,280 (0.30人)	[概算コスト] 21,515 (内訳) ・決算額 19,605 ・人件費 1,910 (0.45人)	[概算コスト] 19,665 (内訳) ・決算額 17,755 ・人件費 1,910 (0.45人)	[概算コスト] 22,870 (内訳) ・決算額 20,912 ・人件費 1,958 (0.45人)	緊急通報システムの設置総台数 (単位:台)	[目標値] 1,877 [実績値] 1,773 達成率 94.5%	[目標値] 2,200 [実績値] 1,800 達成率 81.8%	[目標値] 1,834 [実績値] 1,722 達成率 93.9%	[目標値] 1,716 [実績値] 1,716 達成率 100.0%	高齢者の福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) ひとり暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活するために必要な事業である。	
14	市民サービス	心をつなぐ訪問給食事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成5年度 【概要】援護を必要とするひとり暮らし高齢者等に定期的に食事を提供し、安否確認を行うとともに、食生活の向上、配食従事者との交流を通じた孤独感の解消、自立意欲の促進を図る。 【対象者】・ひとり暮らしで、定期的な安否確認及び食生活の手助けを必要とする者 ・要支援以上の高齢者のみの世帯の者 ・高齢者だけで構成される世帯に、要介護3以上の高齢者がいる場合、要支援以上の者 【具体的な活動内容】 ・利用者の居宅への昼食、夕食の配食と配達時の安否確認	市単	[概算コスト] 220,299 (内訳) ・決算額 216,886 ・人件費 3,413 (0.80人)	[概算コスト] 253,929 (内訳) ・決算額 247,179 ・人件費 6,750 (1.59人)	[概算コスト] 237,641 (内訳) ・決算額 230,891 ・人件費 6,750 (1.59人)	[概算コスト] 247,525 (内訳) ・決算額 240,608 ・人件費 6,917 (1.59人)	利用者数 (単位:人)	[目標値] 2,458 [実績値] 2,458 達成率 100.0%	[目標値] 2,201 [実績値] 2,201 達成率 100.0%	[目標値] 2,447 [実績値] 2,447 達成率 100.0%	[目標値] 2,165 [実績値] 2,165 達成率 100.0%	配食数 (単位:食)	[目標値] 377,805 [実績値] 377,805 達成率 100.0%	[目標値] 401,782 [実績値] 401,782 達成率 100.0%	[目標値] 391,611 [実績値] 391,611 達成率 100.0%	[目標値] 429,088 [実績値] 429,088 達成率 100.0%	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 申請があつてから認定までの作業が煩雑であることから、事務の効率化を検討する必要がある。

第1編 安心して健やかに暮らせるまち
第3章 健やかで明るい高齢社会を築く

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由						
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度									18年度	19年度				
15	助成・育成	老人性白内障特殊眼鏡等助成事業	健康福祉局高齢者福祉課	○事業開始年度 平成4年度 【概要】老人性白内障等の開眼手術を受けた高齢者のうち、人工水晶体の埋込手術が不可能なため、特殊眼鏡又はコンタクトレンズを購入した者に対し、その購入費用の一部を助成する。 【対象者】 ・引き続き1年以上市内に住所を有する者 ・所得税の非課税世帯に属する者 ・65歳以上の者 【具体的な活動内容】 ・平成10～18年度助成実績:14件 406,055円	市単	[概算コスト] 467 (内訳) ・決算額 40 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 425 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 425 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 565 (内訳) ・決算額 130 ・予算額 435 (0.10人)	助成件数 (単位:人)	[目標値] 7 [実績値] 1 達成率 14.3%	[目標値] 7 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 4 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 4 [実績値] 0 達成率 0.0%	高齢者の生活の向上を図る	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	△	△	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 特殊眼鏡等が医療費として認められていないため、これらを必要とする低所得世帯の高齢者の負担軽減を図る必要がある。	
16	市民サービス	寝たきり高齢者等理髪・美容サービス事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成6年度 【概要】寝たきり高齢者等に理容・美容サービスを提供し保健衛生の向上を図る。 【対象者】在宅の65歳以上の要介護3以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・理容組合及び美容組合と委託契約を締結し、寝たきり高齢者の家庭で理髪サービスまたは美容サービスを実施する。	市単	[概算コスト] 1,545 (内訳) ・決算額 1,118 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 2,575 (内訳) ・決算額 1,174 ・人件費 1,401 (0.33人)	[概算コスト] 2,638 (内訳) ・決算額 1,237 ・人件費 1,401 (0.33人)	[概算コスト] 3,515 (内訳) ・決算額 2,079 ・予算額 1,436 (0.33人)	派遣回数 (単位:回)	[目標値] 291 [実績値] 291 達成率 100.0%	[目標値] 309 [実績値] 309 達成率 100.0%	[目標値] 330 [実績値] 330 達成率 100.0%	[目標値] 822 [実績値] 822 達成率 100.0%	寝たきり高齢者等の保健衛生の向上及び福祉の増進	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 在宅の寝たきり高齢者等への理髪、理容サービスの提供は、寝たきり高齢者等の保健衛生の向上を図るため、必要な事業である。	
17	助成・育成	紙おむつ等助成事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成7年度 【概要】高齢者で、紙おむつ等を使用している者に対し、現物支給又は費用の一部を助成することにより、高齢者の福祉及び衛生の向上を図るとともに、家族の経済的負担の軽減を図る。 【対象者】在宅又は病院において紙おむつ等を使用している65歳以上の高齢者で、住民税非課税世帯(生活保護世帯及び介護保険対象の施設入所者は除く。)の者。 【具体的な活動内容】在宅要介護4・5:年額10万円相当の現物支給 要介護3以下:年額5万円相当の現物支給 <入院>月額4千円以内の助成金	市単	[概算コスト] 79,438 (内訳) ・決算額 75,599 ・人件費 3,839 (0.90人)	[概算コスト] 100,596 (内訳) ・決算額 92,828 ・人件費 7,768 (1.83人)	[概算コスト] 130,429 (内訳) ・決算額 122,661 ・人件費 7,768 (1.83人)	[概算コスト] 130,800 (内訳) ・決算額 122,839 ・予算額 7,961 (1.83人)	認定者数 (単位:人)	[目標値] 2,566 [実績値] 2,566 達成率 100.0%	[目標値] 3,286 [実績値] 3,286 達成率 100.0%	[目標値] 3,730 [実績値] 3,730 達成率 100.0%	[目標値] 4,148 [実績値] 4,148 達成率 100.0%	高齢者の福祉及び衛生の向上	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 紙おむつ等を使用している高齢者の保健衛生の向上と家族の経済的負担の軽減を図るために、必要な事業である。	
18	市民サービス	生きがい対応型デイサービス事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】要介護状態になることを防ぐため、通所による各種サービスの提供を行う。 【対象者】H11年度までデイサービス等を利用していた者で、介護保険で自立と判定された者。(旧5町地域は、17年3月末まで利用していた者) 【具体的な活動内容】 ・2週間に1回、デイサービスセンターへの通所により、レクリエーション、給食、健康指導、入浴、送迎などのサービスを実施する。	市単	[概算コスト] 24,425 (内訳) ・決算額 23,998 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 43,299 (内訳) ・決算額 42,492 ・人件費 807 (0.19人)	[概算コスト] 38,073 (内訳) ・決算額 37,266 ・人件費 807 (0.19人)	[概算コスト] 33,281 (内訳) ・決算額 32,454 ・予算額 827 (0.19人)	利用回数 (単位:回)	[目標値] 13,596 [実績値] 11,484 達成率 84.5%	[目標値] 19,731 [実績値] 14,164 達成率 71.8%	[目標値] 19,046 [実績値] 12,422 達成率 65.2%	[目標値] 10,818 [実績値] 10,818 達成率 100.0%	要介護状態の予防	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 経過的事業であることから、事業の終期等について今後検討を行うべきである。	
19	市民サービス	ひとり暮らし高齢者等家事援助サービス事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】介護保険制度で自立と認定された高齢者等で、病気がちであったり、家庭環境等により日常生活に不自由する者を対象に家事援助サービスを実施し、在宅での生活を支援する。 【対象者】平成11年度までにホームヘルプサービスを利用していた者のうち、要介護認定で自立と判定された者。ただし、吉田・桜島・喜入・松元・郡山の各支管内に居住している者は、平成16年度までにホームヘルプサービスを利用していた者で、要介護認定で自立と判定された者。 【具体的な活動内容】 ・家事援助(買物・掃除・洗濯等)の提供	市単	[概算コスト] 17,260 (内訳) ・決算額 16,620 ・人件費 640 (0.15人)	[概算コスト] 17,315 (内訳) ・決算額 16,296 ・人件費 1,019 (0.24人)	[概算コスト] 12,142 (内訳) ・決算額 11,123 ・人件費 1,019 (0.24人)	[概算コスト] 15,651 (内訳) ・決算額 14,607 ・予算額 1,044 (0.24人)	派遣世帯数 (単位:世帯)	[目標値] 559 [実績値] 559 達成率 100.0%	[目標値] 759 [実績値] 759 達成率 100.0%	[目標値] 597 [実績値] 597 達成率 100.0%	[目標値] 651 [実績値] 651 達成率 100.0%	要介護状態の予防	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 経過的事業であることから、事業の終期等について今後検討を行うべきである。	
20	市民サービス	虚弱高齢者等福祉用具給付事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】虚弱な高齢者等に対して介護保険対象外の福祉用具を給付する。 【対象者】65歳以上の在宅の高齢者で用具の必要性が認められる者。 【具体的な活動内容】 ・虚弱なひとり暮らしの高齢者等に対して、寝たきり予防等を図るため介護保険対象外の福祉用具(手押し車・電磁調理器・自動消火器・火災警報機・吸引機・入浴担架・発電機・湯沸器)を給付する。	市単	[概算コスト] 5,465 (内訳) ・決算額 5,040 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 9,127 (内訳) ・決算額 6,155 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 9,502 (内訳) ・決算額 6,530 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 11,253 (内訳) ・決算額 8,208 ・予算額 3,045 (0.70人)	給付件数 (単位:件)	[目標値] 394 [実績値] 394 達成率 100.0%	[目標値] 599 [実績値] 599 達成率 100.0%	[目標値] 554 [実績値] 554 達成率 100.0%	[目標値] 526 [実績値] 526 達成率 100.0%	寝たきり予防を図るとともに、在宅生活をより安全にする	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 虚弱な高齢者の在宅での生活をより安全なものにするため、必要な事業である。	
21	助成・育成	家族介護慰労金支給事業	健康福祉局高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】在宅の寝たきり高齢者等を介護している方を慰労する目的で、家族介護慰労金を支給する。 【対象者】1年間継続して要介護4以上と認定され、その期間中、介護保険のサービス(年間7日間以内のショートステイの利用を除く)を利用しなかった65歳以上の高齢者を介護している方(高齢者、介護者ともに本市に住所を有し、住民税非課税世帯であること。) 【具体的な活動内容】 ・寝たきりの高齢者等1人につき、年額10万円を支給する。	特会	[概算コスト] 2,327 (内訳) ・決算額 1,900 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 2,791 (内訳) ・決算額 1,900 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 2,391 (内訳) ・決算額 1,500 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 4,014 (内訳) ・決算額 3,100 ・予算額 914 (0.21人)	支給者数 (単位:人)	[目標値] 29 [実績値] 19 達成率 65.5%	[目標値] 27 [実績値] 19 達成率 70.4%	[目標値] 23 [実績値] 15 達成率 65.2%	[目標値] 31 [実績値] 31 達成率 100.0%	要介護高齢者等の介護者の慰労	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	-	A	A	現状のまま継続 (理由) 介護サービスを受けずに介護している者に対し、慰労するとともに、在宅介護を支援するために、必要な事業である。

第1編 安心して健やかに暮らせるまち
第3章 健やかで明るい高齢社会を築く

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由					
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度									18年度	19年度			
22	啓発・広報	高齢者のしおり作成事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりのポイントや介護予防に資する基本的な知識などをわかりやすく掲載した高齢者のしおりを作成・配布する。 【対象者】高齢者及びその家族等 【具体的な活動内容】 高齢者のしおりを作成・配布し、本市高齢者福祉施策への理解を図っている。配布先は、市関係窓口、民生委員児童委員、地域福祉館、地域公民館等。	特会	[概算コスト] 1,950 (内訳) ・決算額 1,523 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 2,225 (内訳) ・決算額 1,800 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,129 (内訳) ・決算額 1,704 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,175 (内訳) ・決算額 1,740 ・人件費 435 (0.10人)	配布部数 (単位:部) 20,000 [実績値] 20,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 20,000 [実績値] 20,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 23,000 [実績値] 23,000 <達成率> 100.0%	高齢者福祉施策への理解の促進 [実績値] [実績値] <達成率>	[目標値] [目標値] [目標値]	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	—	A	A	現状のまま継続 (理由) 高齢者向けの保健福祉サービスに関する情報を提供し、高齢者が適切なサービスを受けることができるようにする事業であり、必要である。
23	助成・育成	敬老祝事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】「敬老の日」の一環として、市内に居住する高齢者に対し、長寿を祝福するとともに敬老の意を表し、高齢者の生きがいの助長と敬老の気風の高揚を図る。 【対象者】88歳以上の長寿者 【具体的な活動内容】 「敬老の日」の一環として、88歳と100歳の長寿者に敬老祝金、男女最高齢者に長寿者祝金を支給するほか、88歳以上の長寿者全員に記念品を贈る。	市単	[概算コスト] 83,515 (内訳) ・決算額 81,169 ・人件費 2,346 (0.55人)	[概算コスト] 101,937 (内訳) ・決算額 99,348 ・人件費 2,589 (0.61人)	[概算コスト] 73,325 (内訳) ・決算額 70,736 ・人件費 2,589 (0.61人)	[概算コスト] 78,574 (内訳) ・決算額 75,920 ・人件費 2,654 (0.61人)	祝金支給人数 (単位:人) 1,416 [実績値] 1,391 <達成率> 98.2%	[目標値] 1,416 [実績値] 1,391 <達成率> 98.2%	[目標値] 1,760 [実績値] 1,759 <達成率> 99.9%	[目標値] 1,527 [実績値] 1,525 <達成率> 99.9%	高齢者の生きがいの助長と敬老の意識の高揚 [実績値] [実績値] <達成率>	[目標値] [目標値] [目標値]	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	—	A	A	現状のまま継続 (理由) 長寿を祝福するとともに敬老の意を表し、高齢者の生きがいの助長と敬老の意識の高揚を図るために必要な事業である。
24	助成・育成	敬老バス交付事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】市営の電車、バス、桜島フェリー並びに民営バスを正規運賃の1/3の負担で利用できる敬老バスを交付する。 【対象者】本市に居住し、住民登録を有する70歳以上の者。 【具体的な活動内容】 ・窓口で申請があったものに対し、敬老バスを交付する。(交付は本人に限定)	市単	[概算コスト] 862,166 (内訳) ・決算額 859,606 ・人件費 2,560 (0.60人)	[概算コスト] 966,446 (内訳) ・決算額 960,333 ・人件費 6,113 (1.44人)	[概算コスト] 452,873 (内訳) ・決算額 446,760 ・人件費 6,113 (1.44人)	[概算コスト] 488,780 (内訳) ・決算額 482,516 ・人件費 6,264 (1.44人)	敬老バス交付枚数 (単位:枚) 63,710 [実績値] 63,710 <達成率> 100.0%	[目標値] 63,710 [実績値] 63,710 <達成率> 100.0%	[目標値] 63,820 [実績値] 63,820 <達成率> 100.0%	[目標値] 59,976 [実績値] 59,976 <達成率> 100.0%	高齢者の生きがいの助長と社会参加活動の促進 [実績値] [実績値] <達成率>	[目標値] [目標値] [目標値]	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 高齢者の生活の利便性の向上と、生きがいの助長、社会参加の促進のために、必要な事業である。
25	市民サービス	元気高齢者活動支援事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】各種技能、知識を有する高齢者を元気高齢者として登録し、各種団体・個人の要請に応じて紹介する。 【対象者】高齢者、各種団体、個人 【具体的な活動内容】 ・元気高齢者の登録、紹介	市単	[概算コスト] 2,009 (内訳) ・決算額 1,540 ・人件費 469 (0.11人)	[概算コスト] 1,804 (内訳) ・決算額 1,252 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 822 (内訳) ・決算額 270 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 1,447 (内訳) ・決算額 881 ・人件費 566 (0.13人)	登録者数 (単位:人) 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5%	[目標値] 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5%	[目標値] 40 [実績値] 39 <達成率> 97.5%	[目標値] 40 [実績値] 42 <達成率> 105.0%	紹介件数 (単位:件) 40 [実績値] 23 <達成率> 57.5%	[目標値] 40 [実績値] 23 <達成率> 57.5%	[目標値] 80 [実績値] 30 <達成率> 37.5%	[目標値] 40 [実績値] 26 <達成率> 65.0%	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	—	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 高齢者の能力を活かすとともに、生きがいの助長に大きく貢献するもので、必要な事業であるが、制度のPR方法を工夫するなどし、紹介件数の増加を図る必要がある。	
26	助成・育成	すこやか入浴事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成6年度 【概要】高齢者の生きがいを助長し、健康を増進するために、敬老バスの交付を受けている者が、浴場組合との協定料金の3分の1の負担で浴場を利用できる制度 【対象者】本市に居住し、住民登録を有する70歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・すこやか入浴機能を搭載した、敬老バスを交付する。	市単	[概算コスト] 164,078 (内訳) ・決算額 162,798 ・人件費 1,280 (0.30人)	[概算コスト] 172,474 (内訳) ・決算額 170,564 ・人件費 1,910 (0.45人)	[概算コスト] 109,291 (内訳) ・決算額 107,381 ・人件費 1,910 (0.45人)	[概算コスト] 148,744 (内訳) ・決算額 146,786 ・人件費 1,958 (0.45人)	交付枚数 (18年3月からは交付者数) (単位:枚、人) 1,529,040 [実績値] 1,529,040 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,529,040 [実績値] 1,529,040 <達成率> 100.0%	[目標値] 174,536 [実績値] 174,536 <達成率> 100.0%	[目標値] 64,869 [実績値] 64,869 <達成率> 100.0%	利用回数 (単位:回) 536,664 [実績値] 536,664 <達成率> 100.0%	[目標値] 536,664 [実績値] 536,664 <達成率> 100.0%	[目標値] 587,346 [実績値] 540,516 <達成率> 92.0%	[目標値] 634,643 [実績値] 437,810 <達成率> 69.0%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 高齢者の生きがいを助長するとともに、健康を増進するために、必要な事業である。	
27	イベント	高齢者洋上セミナー事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成4年度 【概要】高齢者の生きがいの助長及び高齢社会への理解を深めるために、大型フェリーをチャーターし1泊2日のクルージングをしながら各種催しを実施する。 【対象者】65歳以上の高齢者(1回定員 200人) 【具体的な活動内容】 ・18年度から2回実施 ・洋上での講演会、体操、レクリエーション等の実施	市単	[概算コスト] 5,595 (内訳) ・決算額 5,168 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 5,599 (内訳) ・決算額 5,174 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 10,737 (内訳) ・決算額 10,312 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 9,532 (内訳) ・決算額 9,097 ・人件費 435 (0.10人)	実施回数 (単位:回) 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	参加者数 (単位:人) 200 [実績値] 178 <達成率> 89.0%	[目標値] 200 [実績値] 179 <達成率> 89.5%	[目標値] 400 [実績値] 300 <達成率> 75.0%	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 高齢社会における自立意識の啓発や生きがいの助長について学ぶ場の提供は必要であるが、費用対効果をより高めるための検討が必要である。		
28	イベント	長才まつり開催事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和62年度 【概要】高齢社会をめぐる様々な問題・課題について考える機会を提供し、高齢者の生きがいを助長し、健康づくりを推進するために、高齢者を対象とした各種催しを開催する。 【対象者】市内に居住する60歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】 ・スポーツ部門(グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール大会など)と文化部門(芸能大会、エイジレス講演会など)の催しを開催している。	市単	[概算コスト] 29,009 (内訳) ・決算額 26,876 ・人件費 2,133 (0.50人)	[概算コスト] 28,286 (内訳) ・決算額 26,163 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 21,262 (内訳) ・決算額 19,139 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 21,070 (内訳) ・決算額 18,895 ・人件費 2,175 (0.50人)	実施イベント数 (単位:種類) 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	参加者数 (単位:人) 8,000 [実績値] 8,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,000 [実績値] 8,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,100 [実績値] 6,116 <達成率> 100.3%	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	—	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 高齢者の生きがいを助長し、健康づくりを推進することは必要であるが、事業の必要性や内容について検証するなど費用対効果を高める検討が必要である。		

第1編 安心して健やかに暮らせるまち
第3章 健やかで明るい高齢社会を築く

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由								
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度									18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合
36	助成・育成	高齢者住宅改造費助成事業	健康福祉局 高齢者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】高齢者等の在宅での生活を支援するため、在宅の要介護老人がいる世帯に対し、住宅改造に必要な助成をすることにより、要支援老人の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。 【対象者】高齢者の居環境を改善しようとする、市内に居住する65歳以上の高齢者またはその同居者。 【具体的な活動内容】 ・申請に対し、助成審査委員会を設置し、審査会を開催する。 ・補助対象経費の3分の2を助成する。(上限666千円)	市単	[概算コスト] 43,858 (内訳) ・決算額 43,005 ・人件費 853 (0.20人)	[概算コスト] 42,906 (内訳) ・決算額 41,208 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 34,805 (内訳) ・決算額 33,107 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 39,476 (内訳) ・予算額 37,736 ・人件費 1,740 (0.40人)	助成件数 (単位:件)	[目標値] 108 [実績値] 83 <達成率> 76.9%	[目標値] 86 [実績値] 79 <達成率> 91.9%	[目標値] 78 [実績値] 72 <達成率> 92.3%	[目標値] 82 [実績値] 72 <達成率> 92.3%	高齢者等の在宅福祉の向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 在宅の虚弱老人、ねたきり老人等の自立促進と介護者の負担軽減を図るため、必要な事業である。	
37	市民サービス	高齢者住宅生活援助員派遣事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】デイサービス事業を運営する社会福祉法人から生活援助員をシルバーハウジング内の事務所に派遣し、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、支援する。 【対象者】シルバーハウジング入居者 【具体的な活動内容】 ・生活指導・相談、安否の確認等のサービスを必要に応じて提供する。	特会	[概算コスト] 7,564 (内訳) ・決算額 6,711 ・人件費 853 (0.20人)	[概算コスト] 7,546 (内訳) ・決算額 6,697 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 3,852 (内訳) ・決算額 3,003 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 5,481 (内訳) ・予算額 4,611 ・人件費 870 (0.20人)	配置箇所 (単位:箇所)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	生活相談件数 (単位:件)	[目標値] 5,438 [実績値] 5,438 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,232 [実績値] 1,232 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,126 [実績値] 1,126 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,179 [実績値] 1,126 <達成率> 100.0%	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 生活援助員による生活相談や安否確認等は、高齢者の自立した安全な生活の促進に寄与しており、高齢者が安心して地域で生活するために必要な事業である。			
38	啓発・広報	小中学校福祉読本作成事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】21世紀の社会を支える世代となる小・中学生に福祉読本を配付し、高齢者及び障害者についての正しい理解を深め、福祉の心を育む。 【対象者】小学3年生・小学6年生・中学3年生 【具体的な活動内容】 ・福祉読本の編集、小・中学生への配付	市単	[概算コスト] 2,415 (内訳) ・決算額 1,988 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 1,505 (内訳) ・決算額 1,080 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,186 (内訳) ・決算額 761 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,172 (内訳) ・予算額 1,737 ・人件費 435 (0.10人)	配付部数 (単位:部)	[目標値] 18,300 [実績値] 18,300 <達成率> 100.0%	[目標値] 18,000 [実績値] 19,750 <達成率> 109.7%	[目標値] 19,800 [実績値] 20,000 <達成率> 101.0%	[目標値] 19,300 [実績値] 20,000 <達成率> 103.6%	小中学生の福祉に対する理解の促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 次代を担う子どもたちが高齢者や障害者等について正しく理解することは、地域福祉の推進に必要であり、正しい知識の啓発のための福祉読本の配付は、有効な手段であり必要性が高い。	
39	その他	心をつなぐともしびグループ活動支援事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成5年度 【概要】地域でお互いを支え合うボランティアをグループ化した「ともしびグループ」を設置する。 【対象者】地域でお互いを支え合うボランティアグループ 【具体的な活動内容】 ・ボランティアグループを「ともしびグループ」として登録し、「ひとり暮らしの高齢者等への声かけ」「多様なニーズの掘り起こし」「在宅福祉に関する情報提供」「民生委員との連携」等の活動を行い、地域で支え合う地域福祉を推進する。	特会	[概算コスト] 1,791 (内訳) ・決算額 1,366 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,118 (内訳) ・決算額 1,227 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 2,370 (内訳) ・決算額 1,479 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 2,989 (内訳) ・予算額 2,075 ・人件費 914 (0.21人)	ともしびグループ数 (単位:グループ)	[目標値] 345 [実績値] 301 <達成率> 87.2%	[目標値] 350 [実績値] 278 <達成率> 79.4%	[目標値] 307 [実績値] 261 <達成率> 84.7%	[目標値] 285 [実績値] 261 <達成率> 91.6%	活動対象高齢者数 (単位:人)	[目標値] 2,000 [実績値] 1,613 <達成率> 80.7%	[目標値] 2,000 [実績値] 1,623 <達成率> 81.2%	[目標値] 2,000 [実績値] 1,480 <達成率> 74.0%	[目標値] 2,000 [実績値] 1,480 <達成率> 74.0%	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 地域で支えあう地域福祉を推進するために、必要な事業である。
40	相談	高齢者福祉相談員設置事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】在宅介護支援システムや高齢者福祉電話利用者等に対し、電話による安否確認や相談、来庁時の相談に応じる。 【対象者】在宅介護支援システム、高齢者福祉電話利用者等 【具体的な活動内容】 ・電話で安否確認や相談、来庁時の相談に応じ、高齢者の社会参加の促進、要介護高齢者の福祉の向上を図る。	市単	[概算コスト] 5,580 (内訳) ・決算額 5,367 ・人件費 213 (0.05人)	[概算コスト] 5,567 (内訳) ・決算額 5,355 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 5,627 (内訳) ・決算額 5,415 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 5,641 (内訳) ・予算額 5,423 ・人件費 218 (0.05人)	相談員の発信件数 (単位:件)	[目標値] 24,340 [実績値] 24,340 <達成率> 100.0%	[目標値] 24,190 [実績値] 24,190 <達成率> 100.0%	[目標値] 22,988 [実績値] 22,988 <達成率> 100.0%	[目標値] 24,000 [実績値] 22,988 <達成率> 95.8%	相談等件数 (単位:件)	[目標値] 200 [実績値] 166 <達成率> 83.0%	[目標値] 200 [実績値] 155 <達成率> 77.5%	[目標値] 220 [実績値] 209 <達成率> 95.0%	[目標値] 230 [実績値] 209 <達成率> 90.9%	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎	A	A	現状のまま継続 (理由) 要介護高齢者の福祉の向上や高齢者の社会参加の促進を図るため、必要な事業である。
41	市民サービス	成年後見制度利用支援事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】成年後見人等を必要とする方のために後見開始の審判の申立てや申立て費用の助成を行ったり、制度の広報・普及活動等を行うことで、同制度の利用促進を図る。 【対象者】・市長申立て:身寄りのない認知症高齢者等 ・広報:一般市民 【具体的な活動内容】 ・成年後見開始の審判の申立て ・申立て費用の助成 ・利用促進のパンフレットの作成及び配布 ・成年後見制度の円滑な運用を図るための検討会の開催	特会	[概算コスト] 519 (内訳) ・決算額 50 ・人件費 469 (0.11人)	[概算コスト] 591 (内訳) ・決算額 39 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 727 (内訳) ・決算額 175 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 1,902 (内訳) ・予算額 1,336 ・人件費 566 (0.13人)	パンフレット作成部数 (単位:部)	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 <達成率> 100.0%	申立件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 2 <達成率> 66.7%	[目標値] 5 [実績値] 2 <達成率> 40.0%	△	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 身寄りのない認知症高齢者等の保護を図るために、必要な事業であるが、利用件数が少ないため、障害者福祉による制度も合わせて効果的なPR方法を検討し、利用件数の増加を図る必要がある。		
42	助成・育成	徘徊高齢者家族支援サービス事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度 平成14年度 【概要】認知症高齢者が徘徊した場合に早期に発見できるシステムを活用し、その居場所を家族に伝え、事故の防止を図る等、家族が安心して介護できる環境の整備及び福祉の向上を図る。 【対象者】市内に住所を有する概ね65歳以上の認知症高齢者で、徘徊癖のある者を在宅で介護している家族等。 【具体的な活動内容】 ・認知症高齢者が徘徊したとき早期発見できるシステムに加入した場合に、加入費及び購入費の一部を助成。	特会	[概算コスト] 552 (内訳) ・決算額 40 ・人件費 512 (0.12人)	[概算コスト] 646 (内訳) ・決算額 52 ・人件費 594 (0.14人)	[概算コスト] 608 (内訳) ・決算額 14 ・人件費 594 (0.14人)	[概算コスト] 679 (内訳) ・予算額 70 ・人件費 609 (0.14人)	利用件数 (単位:件)	[目標値] 25 [実績値] 5 <達成率> 20.0%	[目標値] 11 [実績値] 7 <達成率> 63.6%	[目標値] 10 [実績値] 2 <達成率> 20.0%	[目標値] 7 [実績値] 2 <達成率> 28.6%	高齢者の福祉の増進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	△	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 徘徊高齢者の事故を防止し、家族が安心して介護できる環境を整えることは必要であるが、制度のPR方法を工夫するなどし、利用件数の増加を図る必要がある。		

第1編 安心して健やかに暮らせるまち
第3章 健やかで明るい高齢社会を築く

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	効率性 市の関与	有効性 事業の統合	公平性 コスト削減の工夫	施策効果 成果向上への見直し	受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度												18年度	19年度	
57	相談	住宅改修指導事業	健康福祉局 高齢者福祉課 障害者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】高齢者・重度身体障害者の住宅改修を行う際に、住宅改修指導員を派遣して相談に応じ、適切なアドバイスを行うことで、高齢者・重度身体障害者の住環境の改善を図る。 【対象者】おおむね65歳以上の要援護高齢者のいる家庭や身体障害者ホームヘルプサービス事業の派遣対象者など一定の要件に該当する者で、年齢、身体状況、家庭構成、家屋状況等から居室等の改良を希望する者 【具体的な活動内容】 ・住宅改修指導員の派遣	特会	[概算コスト] 1,059 (内訳) ・決算額 419 ・人件費 640 (0.15人)	[概算コスト] 1,358 (内訳) ・決算額 721 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 1,157 (内訳) ・決算額 520 ・人件費 891 (0.21人)	[概算コスト] 1,895 (内訳) ・予算額 981 ・人件費 914 (0.21人)	派遣世帯数 (単位:世帯) 97 [実績値] 97 <達成率> 100.0%	[目標値] 151 [実績値] 151 <達成率> 100.0%	[目標値] 90 [実績値] 90 <達成率> 100.0%	[目標値] 107 [実績値] 107 <達成率> 100.0%	高齢者等の福祉の増進 [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	—	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 住宅改修指導員によるアドバイスにより、高齢者の住環境の改善が図られることから、必要な事業であるが、制度のPR方法を工夫するなどし、派遣世帯数の増加を図る必要がある。		
58	相談	介護相談員派遣事業	保健福祉局 介護保険課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】介護相談員が介護サービスの提供事業所等を訪問し、利用者やその家族等の相談や要望等を聞き、事業者へ利用者等の声を伝えることにより、利用者と事業者の橋渡し役となり介護サービスの改善に役立てる。 【対象者】介護保険サービスの利用者 【具体的な活動内容】 ・介護相談員数:9人 ・訪問事業所数(年間・実数):300箇所 ・相談員事業所派遣回数(年間):672回	特会	[概算コスト] 8,124 (内訳) ・決算額 7,612 ・人件費 512 (0.12人)	[概算コスト] 10,074 (内訳) ・決算額 9,565 ・人件費 509 (0.12人)	[概算コスト] 8,345 (内訳) ・決算額 7,836 ・人件費 509 (0.12人)	[概算コスト] 10,069 (内訳) ・予算額 9,547 ・人件費 522 (0.12人)	相談員派遣事業所数 (単位:箇所) 210 [実績値] 196 <達成率> 93.3%	[目標値] 300 [実績値] 291 <達成率> 97.0%	[目標値] 300 [実績値] 290 <達成率> 96.7%	[目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	相談人数(サービス利用者及びその家族等) (単位:人) 2,846 [実績値] 2,846 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,846 [実績値] 2,846 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,454 [実績値] 3,454 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,206 [実績値] 3,206 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,300 [実績値] 3,300 <達成率> 100.0%	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	○	—	A	A	現状のまま継続 (理由) 専門的な知識をもって、利用者とサービス提供者との中立的な立場で相談業務を行うことは、介護サービスの質の向上のために必要な事業である。
59	監視・規制	介護給付適正化事業	保健福祉局 介護保険課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】介護保険サービスの利用に必要なケアプランを作成する居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にケアプランの作成に係る指導、助言、講演会等の開催を通じて、保険の適正な給付及び不正請求等の防止を図る。 【対象者】居宅介護支援事業所、利用者 【具体的な活動内容】 ・介護給付調査指導員配置 1人 ・ケアプラン適正化指導検討会 ケアプラン検討件数 400件(24回/年)	特会	[概算コスト] 2,807 (内訳) ・決算額 2,380 ・人件費 427 (0.10人)	[概算コスト] 4,573 (内訳) ・決算額 3,936 ・人件費 637 (0.15人)	[概算コスト] 8,524 (内訳) ・決算額 7,548 ・人件費 976 (0.23人)	[概算コスト] 9,025 (内訳) ・予算額 8,024 ・人件費 1,001 (0.23人)	ケアプラン適正化指導検討会開催数 (単位:回) 24 [実績値] 17 <達成率> 70.8%	[目標値] 24 [実績値] 17 <達成率> 70.8%	[目標値] 24 [実績値] 21 <達成率> 87.5%	[目標値] 24 [実績値] 24 <達成率> 100.0%	ケアプラン適正化指導件数 (単位:件) 400 [実績値] 324 <達成率> 81.0%	[目標値] 400 [実績値] 324 <達成率> 81.0%	[目標値] 400 [実績値] 381 <達成率> 95.3%	[目標値] 400 [実績値] 400 <達成率> 100.0%	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	—	A	A	現状のまま継続 (理由) ケアマネジャーへの指導、助言、研修等は、給付の適正化を図るために必要な事業である。	
60	相談	サービス事業者情報提供事業	健康福祉局 介護保険課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】市民が介護保険対象サービスを行う事業所選択などの一助となるよう市民に情報提供をする。また、事業者に対してサービスの質の向上のために先進事例等の情報提供をする。 【対象者】市民及び介護保険事業所 【具体的な活動内容】 ・介護保険相談員の配置5名(本庁2名、谷山支所1名、伊敷支所1名、吉野支所1名) ・ガイドブックの作成・配布 ・介護サービス事業者講演会の開催(年1回)	特会	[概算コスト] 13,762 (内訳) ・決算額 12,695 ・人件費 1,067 (0.25人)	[概算コスト] 13,553 (内訳) ・決算額 12,492 ・人件費 1,061 (0.25人)	[概算コスト] 13,306 (内訳) ・決算額 12,245 ・人件費 1,061 (0.25人)	[概算コスト] 14,098 (内訳) ・予算額 13,010 ・人件費 1,088 (0.25人)	介護相談員の配置 (単位:人) 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	相談件数 (単位:件) 8,957 [実績値] 8,957 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,957 [実績値] 8,957 <達成率> 100.0%	[目標値] 9,629 [実績値] 9,629 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,135 [実績値] 8,135 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,900 [実績値] 8,900 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	—	A	A	現状のまま継続 (理由) 介護保険相談員の配置やガイドブック等の作成、配付は、利用者の介護保険サービス利用に際する環境整備を図るものであり、必要な事業である。